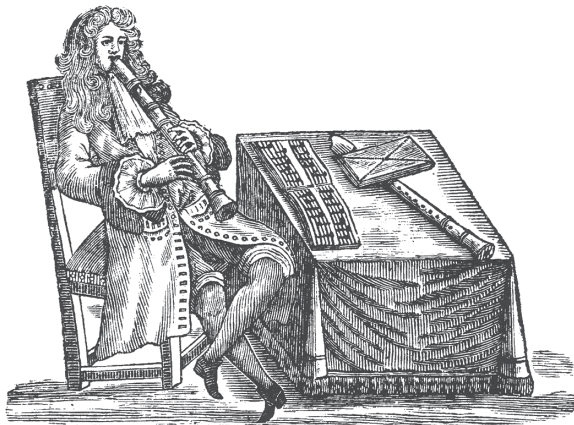


リコーダーとチェンバロによる 「悲しみ、祈りと慰め」

リコーダー
本村睦幸

チェンバロ
岡田龍之介



テレマン:ソナタ ヘ短調 TWV 41:f1
フローベルガー:フェルディナンド4世の死に捧げる哀歌
ペーパッシュ:リコーダーソナタ 第1集第4番 ヘ長調
ド・ヴィゼ:デュビュのトンボー、ハ長調の舞曲小品 ほか

2017年 10月31日[火]

Space 415

中野区新井2-48-12
<http://space415.info/>

JR中央線/東京メトロ東西線
中野駅北口より徒歩12分

野方警察署近く、区立野方児童館の隣
「芦野」の表札がある入口をいってすぐ右の建物の2階

休憩なし60分のトークコンサート
同プログラム3回公演

昼 13:30 開演 (13:00 開場)
夕 16:00 開演 (15:00 開場)
夜 19:40 開演 (18:00 開場)

全自由席 ¥3,000 要予約

■ご予約・お問い合わせ
デ・ルストホフ: lusthof.concerts@gmail.com
あしの: 090-6045-9311

<http://mutsuyukimotomura.com/>

中野の Space 415 で、トークを含め、休憩なし 60 分のプログラムを 1 日 3 公演行う「小さな室内楽」。第 26 回は、チェンバロの岡田龍之介さんをゲストにお迎えして、「悲しみ、祈りと慰め」というテーマでお聴きください。このプログラムは、岡田さんと本村が交代で〈やまでら音楽会〉という演奏会を企画させていただいている愛知県にある芳友寺で、ご住職奥様ご逝去にあたっての追悼として組ませていただいたものです。Triste（悲しい）という楽章で始まるテレマンのソナタ、フローベルガーやド・ヴィゼによる追悼の音楽とともに、慰めの音楽として楽しい舞曲や魂の喜びを感じさせるようなペーパッシュのソナタを選びました。もちろん、このコンサート自体は追悼コンサートではありませんので、お気軽な気持ちで多彩な曲想をお楽しみください。

★ 約100m先左側(児童館手前)

⑤ 二本目の角を左折
(角切りに沿って)

④ 体育館の次の信号を右折

③ 中野体育館信号を左折

② 左手のエスカレーター
/階段を登る

① 中野駅北口下車
JR/東西線

Space 415
〒165-0026
中野区新井2-48-12
電話03-5380-2430

予告

12月8日(金) 小さな室内楽 第27回 共演：齊藤文誉 (リコーダー)

2月12日(月・休) 小さな室内楽 第28回 共演：根本卓也 (チェンバロ)

本村睦幸 Mutsuyuki Motomura (リコーダー)

東洋のナポリに生まれる(笑)。中2頃リコーダーにはまり、それをこじらせたまま現在に至る。アムステルダム音楽院卒。W. ファン・ハウエらに師事。アムステルダムを拠点とする十余年に渡る活動を経て、2001年に帰国。リコーダー音楽が花開いたルネサンス・バロック時代の室内楽の楽しみを現代に活かすことを夢見て、愛好家の方々にとっての聴く喜び、奏でる喜びの双方を見据えた活動を展開している。現在は、リコーダーに本来の小さなサロンのあり方を探る〈小さな室内楽〉シリーズを東京での活動のベースにおきながら、リコーダーの様々なレパートリーを網羅的に取り上げる〈本村睦幸リコーダーシリーズ〉や、古楽器に限らない多様な演奏家との共演、現代作品の委嘱などをも通してリコーダー音楽の可能性を追求している。CDに「オランダバロックの愉悅」、「バルサンティ:リコーダーソナタ全6曲」、「無伴奏リコーダー600年の旅」があるほか、去年は、CD「テレマン:無伴奏フルートのための12のファンタジア」に加えて、同曲集のアルトリコーダー版を全音楽譜出版より校訂出版している。ホームページは、<http://mutsuyukimotomura.com/>



岡田龍之介 Ryūmosuke Okada (チェンバロ)

慶應義塾大学経済学部、東京藝術大学楽理科卒業、藝大大学院修了。チェンバロを有田千代子、渡邊順生、音楽学を角倉一朗の各氏に師事。1983年のJ.J. ルソーのオペラ「村の占い師」原語上演によるデビュー以来数多くの音楽祭や演奏会に出演。F. アゴ스티ーニ、S. クイケン、D. ブリュッヘンら国内外の優れたソリスト、バロック奏者とのアンサンブルで培った通奏低音には定評があり、近年は教育活動、各種講演会、執筆活動を通じてバロック音楽の普及にも積極的に取り組む。これまでにアリオン・レクチャーコンサート、栃木「蔵の街」音楽祭、目白バ・ロック音楽祭、北とび国際音楽祭、ソウル国際古楽祭、みなと・よこはまバロックシリーズ、旭川雪の美術館古楽コンサート、金沢史跡コンサート、NHK・FMリサイタル等に出演。第13回及び23回山梨古楽コンクールでは審査員を務める。ソロCD「銀色の響き」(レコード芸術誌準特選盤)をはじめこれまでに10枚のCDをリリース。また最近指揮活動にも力を入れ、自ら設立したザロモン室内管弦楽団の他、新潟のネーベル室内合奏団、コレギウム・ムジクム富山等を定期的に指揮する。現在、洗足学園音大、都留音楽祭各講師。古楽アンサンブル「ムジカ・レセルヴァータ」「ヴィアッジョ・ムジカール」主宰。鴻巣FM放送「クラシックの散歩道」メインパーソナリティ。